



かぼちゃっこ

「自分で考え 自分で決めて 自分から動き出す子ども」

令和 8 年
9 月 16 日
No.6



HP アクセスQR コード

2学期スタート！

ここ数年よりは、いくぶん過ごしやすい日もあった夏休みが終わり、8月26日から2学期がスタートしました。夏休み中に取り組んだ工作や図画などの作品を抱えながら、元気に登校する姿が見られ、うれしく思いました。

始業式は、暑さを考慮して、食堂で行いました。校長から、夏の甲子園を話題にして、2学期大切にしていってほしいことを話しました。みなさんも甲子園での球児たちの熱い戦いぶりをご覧になったかと思います。今年は、春夏通じて初めて出場した熊本の有明高校の旋風が話題となりましたね。大会が始まる1週間ほど前に起きた熊本地震は、選手たちにとってもかなり大きな衝撃だったと思いますが、地震で被災した方たちに「勇気を届けたい」という強い願いを胸に試合に臨んでいたとのこと。その強い思いが結果にもつながり、1回戦では、2対3で9回ツーアウトまで追い込まれながら、逆転タイムリーで勝利。続く、2回戦、3回戦も相手に先制されながらも連続で逆転勝ちを収め、初出場ながらベスト8という素晴らしい快進撃でした。

この有明高校の戦いは、「最後まであきらめなければ、道は開ける」という希望を与えてくれたと思いますし、自分たちの勝利というだけでなく、被災地の方々に励ましたいという「誰かのために」というあたたかい思いがあったからこそ、生まれたものなのではないかと思っています。

2学期は、運動会や学芸会など、みんなで力を合わせて競技したり、表現したりする行事もあります。宮宿小のみんなには、「最後まであきらめないこと」と「仲間のために力を尽くすこと」の2つを大切に、この2学期を過ごしていきたくて願っています。勉強や運動で、難しいことに直面した時、「自分是可以する」と信じ、一歩ずつ挑戦していきたくてほしい。クラスの仲間が困っているとき、あるいは、何か大きな行事で力をあわせるときに、友達や仲間を思いやり、支え合う気持ちを大切にしていきたいと思います。最後まであきらめず、そして誰かのために頑張ったとき、きっと普段以上の力を発揮することができるはずだと子どもたちには伝えました。

有明高校の選手たちが、熊本のみなさんに届けてくれたように、宮宿小の子どもたちも、たくさんの笑顔と感動を互いに届け合える、そんな2学期になることを期待しています。

2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



[illegible]